

# 実施体制

- 提案課題名 「階層別分子動態可視化のための先端技術開発」
- 研究代表者名 「石渡信一」
- 代表機関名 「早稲田大学」

## (1) 可視化技術開発のための基礎研究と全体の取り纏め 早稲田大学各グループ代表者

- ・理工学術院： 石渡信一
- ・理工学術院： 武岡真司
- ・(総合研究機構：尾崎美和子)

### 研究協力者

- ・生命医療工学インスティテュート  
鈴木団・山口佳則・枝川義邦

## (2) 要素技術支援および疾患モデル動物の解析

- ・東京大学大学院医学系研究科・疾患生命工学センター  
代表者：秋本崇之

### 研究協力者

- ・(独) 理化学研究所・脳科学総合研究センター  
代表者：宮脇敦史
- ・東京大学・生物機能制御化合物ライブラリー機構  
代表者：小島宏建
- ・奈良女子大学・理学部  
代表者：岩井薫

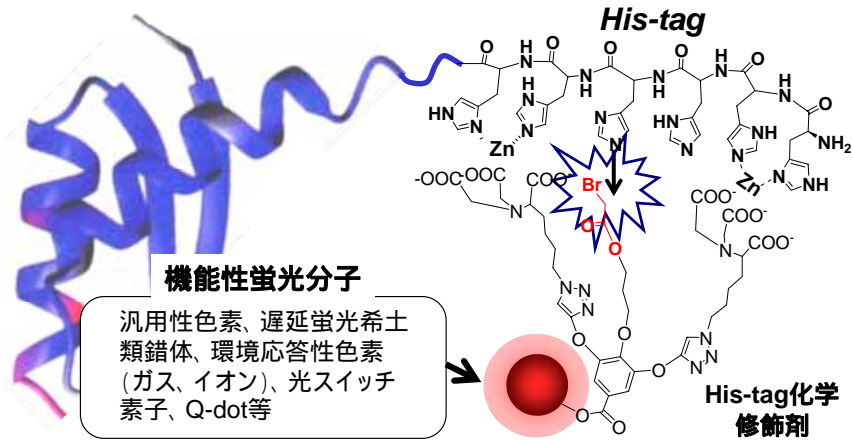
## (3) 世界のバイオ情報の収集と利用、融合研究・臨床応用研究への発展

- ・National University of Singapore (NUS)  
代表者：Yixin Lu and Liang Fengyi
- ・Duke-NUS Graduate Medical School Singapore  
代表者：Zhen Yan
- ・Waseda Olympus Bioscience Research Institute  
代表者：Miwako Ozaki

### 研究協力者：

- ・Singapore Clinical Imaging Center  
代表者：George Radda
- ・Institute of Bioengineering and Nanotechnology  
代表者：Jackie Ying

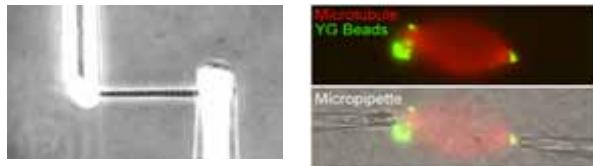
# 課題の実施内容



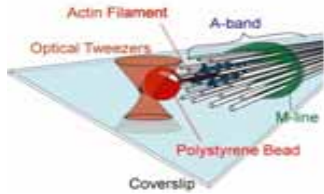
機能性プローブ開発  
実用的バイオマテリアル合成



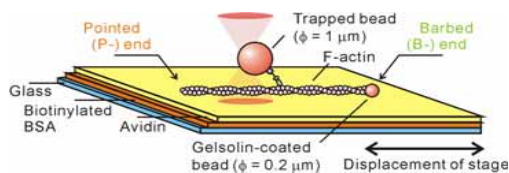
有機合成の専門家集団による、スピード重視で同時進行するバイオアッセイ展開



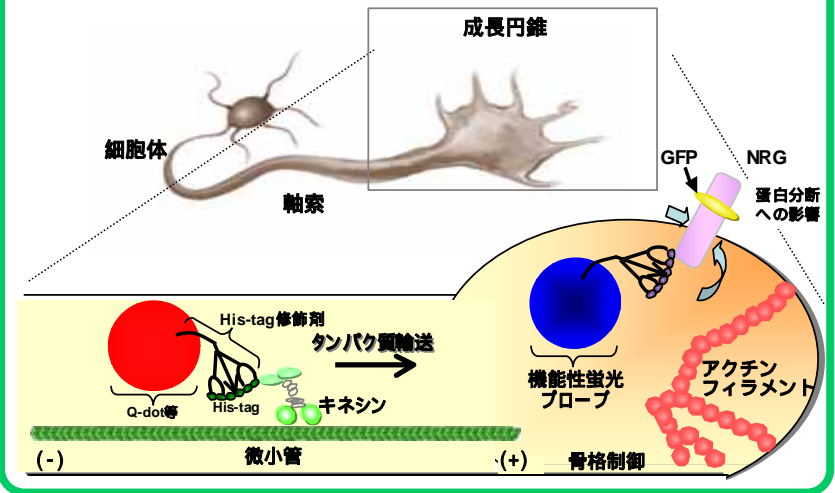
顕微観察技術開発



先進的なタンパク質・細胞研究  
一分子実験系  
神経生理



## 細胞内局所環境の可視・定量化



機能性蛍光プローブおよび計測系の開発  
と  
筋肉系と神経系への応用